

# 公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和5年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
加須市	下水道事業	農業集落排水施設	

## 実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
			●			●	

## 抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業)広域化等								
実施済		(実施類型)	汚水処理施設の統廃合		(取組の概要)	(実施(予定)時期)				
		処理場廃止あり	処理場廃止なし	年		月	日			
実施予定			公共下水・流域下水の統合	公共下水同士の統合	集落排水・公共下水との統合	特環下水と公共下水との統合	その他			
			汚泥処理の共同化	維持管理・事務の共同化	最適な汚水処理施設の選択(最適化)					
検討中	●	(取組の効果額)	百万円(年)			(取組の効果額内訳)				
		(取組の概要)	<p>【きっかけ】平成30年1月の国からの通知を受け、令和2年6月、加須市生活排水処理施設整備計画の改訂時に記載した。</p> <p>【概要】農業集落排水処理施設同士の統廃合や公共下水道・流域下水道への接続により、下水道処理の最適化・広域化の推進を図る。</p>					(検討状況・課題)		
		<p>【検討状況】統廃合や公共下水道等への接続方法について複数案を検討中</p> <p>【課題】接続のための管渠の建設コスト、統合先・接続先となる処理場・管渠の受入可能容量</p>								

取組事項

民間活用(PPP/PFI方式の活用)

実施済



(取組の概要)

【きっかけ】当初は市直営で建設していたが、平成13～17年度の5年間で管路布設が6.5km程度という低い進捗にとどまったため、平成17年3月に市議会から早期完成が求められたことから、PFIの導入が検討された。

【概要】汚泥処理施設1箇所、管路施設30.115km  
 【効果】①建設コストの縮減、②サービス提供時期の早期化

(方式)

BTO方式	●	公共施設等運営権方式(コンセッション方式)	
BOT方式			
BOO方式			
DB方式		港海運営会社制度	
DBO方式		その他	

(導入・契約(予定)時期)

平成		
19	1	26
年	月	日

実施予定

(取組の効果額)

48 百万円(年)

(取組の効果額内訳)

①施設整備費 年▲46  
 ②維持管理費 年▲2  
 計 年▲48

検討中

(取組の概要)

(検討状況・課題)